

『会員登録システム』本稼働に向けた告知のお願い

- 1月22日11:00からログイン画面に責任者IDなどの入力欄が表示されるため、「テスト稼働」を行ったチーム責任者は、取得済みの責任者IDを使用した継続の登録申請が可能となります。
- 2月1日11:00から新規登録ボタンが表示されるため、「テスト稼働」を行っていないチーム責任者は新規登録申請が可能となります。

『会員登録システム』は、地区・支部や登録料に文字や数字が入力・保存されていれば、それらが仮情報〔設定未完了情報〕であっても「設定完了」と認識し、チーム責任者は登録申請（継続・新規含む）が行えるようになります。仮情報〔設定未完了情報〕の時点で行われた登録申請は、仮情報〔設定未完了情報〕に対する登録申請です。どのタイミングで「承認」を行っても、仮情報〔設定未完了情報〕で「承認」されません。（登録料が「未設定」と漢字表記されている際は、登録申請は行えません）。

そのため、もし「承認」してしまった場合は、都道府県卓球協会（連盟）や地区・支部は「承認取消」等の作業、チーム責任者は再度登録申請を行うなど、それぞれで各種訂正作業を伴います。

よって、以下の注意点をご確認いただき、登録希望者に登録申請受付開始日、登録申請受付開始日より前に行われた登録申請は「却下」すること等の告知をお願いいたします。

登録申請受付開始日は、都道府県卓球協会（連盟）内で地区・支部と連携を取っていただき、ご検討をお願いいたします。

【告知をお願いしたい内容】

①登録申請受付開始日。

必ず、地区・支部と連携を取っていただいた上で、登録申請受付開始日を決定してください。

②登録申請受付開始日より前の登録申請は「却下」し、登録申請受付開始日以降に、取得済みのチーム責任者IDを使用して再度登録申請を行ってください。

※「却下」をしても、入力されたデータは破棄されず、システムに記録されています。

必ず、取得済みのチーム責任者ID、会員IDを使用して、再度申請をしてください。「新規登録」を行うことは誤操作です。

※チーム宛の伝達事項欄に入力したメッセージは、チーム責任者宛のメール内に記載されます。

③登録申請受付開始日前にチーム責任者IDでのログイン、もしくは新規登録は、JTТА・都道府県卓球協会（連盟）・地区・支部の作業に支障が出るため絶対に行わないでください。

④チーム責任者が登録申請を行う際に選択する、申請先の「都道府県」「地区・支部」「チーム区分」「該当種別」を明示してください。

※ここを誤ると、承認者側は該当申請を「却下」もしくは「承認取消」などをし、チーム責任者が取得済みのチーム責任者ID、会員IDを使用して、正しい申請先に登録申請しなおすこととなります。

⑤登録料納入の方法。

⑥その他 [承認作業日程、ゼッケン配布方法など]

なお、登録申請受付開始日を設定される際は、大会申込（本会主催大会1つ目は「全日本ラージボール卓球選手権大会」／申込締切日4月20日）に間に合うようお願いいたします。

注意点☛設定が仮情報〔設定未完了情報〕で登録申請された場合

仮情報〔設定未完了情報〕の時点で行われた登録申請は、仮情報〔設定未完了情報〕に対する登録申請です。どのタイミングで「承認」を行っても、仮情報〔設定未完了情報〕での「承認」になります。

よって、仮情報の時点で登録申請がされた場合、承認作業側は全ての登録申請を「却下」し、チーム責任者に登録申請受付開始日になってから、再度登録申請を行うことを伝達してください。

【大筋の操作手順】

①仮情報〔設定未完了情報〕でされている登録申請（登録申請受付開始日より前にされた登録申請）をすべて「却下」します。

その際、チーム側への伝達事項欄を使用し、登録申請受付開始日になってから取得済の各種 ID を使用して登録申請を行うようにご伝達ください。

伝達事項欄は、チーム責任者宛での「却下」のお知らせメール内に記載されます。

②登録申請受付開始日までの間に、都道府県卓球協会（連盟）と地区・支部は設定完了してください。都道府県卓球協会（連盟）は作成した「地区・支部」と連携をとり、各種設定が完了しているか確認をしてください。

—登録申請受付開始—

③チーム責任者が登録申請を行います。（「テスト稼働」済のチームは継続登録、その他は新規登録）。

④登録申請受付開始日以降の登録申請に対し、承認作業を行ってください。

⑤「承認」・・・登録料を納入してください。

「却下」・・・「却下理由」に応じ、再申請などをしてください。

⑥登録納入済を以て、『会員登録システム』では該当チームや個人会員が登録完了（所属済）と表示されます。

以上